

不祥事根絶のための行動計画

尾道市立因島南小学校
作成責任者 校長 衛藤 朋弘

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

尾道市立因島南小学校
 1 使命 私たちは、子どもたちを守り、育てます。
 2 遵法 私たちは、法令を遵守します。
 3 公正 私たちは、不祥事を許しません。
 4 公開 私たちは、地域に開かれた学校にします。

区 分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<p>○服務研修において、事案・県資料を基にした伝達・講話・協議が中心となっている。</p> <p>○面談が事案内容の有無、確認傾向にあるため、背景・要因にまで至った内容となりにくい。</p>	<p>○服務研修の内容・方法を意識を高め、効果を上げるように、工夫・改善する。</p> <p>○面談の内容・方法を改善し、職員個々が理解し、実動できるようにする。</p>	<p>○服務研修年間計画内容を事案を基に、資質・服務勤務体制・環境の面から迫るものとする。</p> <p>○面談の月1回の定例化や日常化を行い、資質面・職務勤務体制面・環境面を含めた内容とする。</p>	<p>○毎月末実施の服務チェックリスト結果により検証する。</p>
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<p>○教師（教職員）・教育公務員としての使命・責任に基づいた学校の風土化までに至っていない。</p> <p>○毎月末の服務チェックリスト結果から不祥事防止委員会における考察と活用が不十分である。</p>	<p>○行動基準4点に関わらせた話題化・視覚化・広報化によるコミュニケーション環境整備に取り組む。</p> <p>○不祥事事案の有無に関わらず、要因傾向となり得る内容の焦点化・目標化を行う。</p>	<p>○機会（職朝・終会・服務研修等）を捉えた 情報提供や挨拶・対話、適切な接遇のあり方のマニュアル化を行う。</p> <p>○事案・チェックリスト結果から、当月重点目標を設定、周知するとともに服務研修内容に繋ぐ。</p>	<p>○毎月不祥事防止委員会で状況交流と方向対策を行う。</p> <p>○毎月不祥事防止委員会で結果確認と重点目標化する。</p>
相談体制の充実	<p>○相談窓口表示内容が一律的であり、保護者・児童への周知としてわかりにくく、認知度が低い。</p> <p>○不祥事防止に関する周知や意見把握・状況把握等の直接的な場を持っていない。</p>	<p>○「体罰、セクハラ相談窓口」周知機会の増加と表示内容改善により認知度を上げる。</p> <p>○参観日学級懇談会、学期末個人懇談会において、不祥事に関する話題の場の設定を行う。</p>	<p>○全学級・特別教室・外掲示板・昇降口・廊下階段・各階段への具体例を取り入れた掲示と学校通信等を通じた広報を実施する。</p> <p>○参観日学級懇談会や学期末個人懇談会において、議題化し、相談窓口や不祥事等に関する周知や意見把握を行う。</p>	<p>○毎月初日の相談窓口状況と毎学期中間期の児童、保護者対象アンケート結果により検証する。</p> <p>○参観日・学期末個人懇談会において保護者意見把握をし、記録する。</p>